

研究概要

1. 研究名称 または課題名テーマ等

関節鏡視下腱板修復術に対するエピネフリン、トラネキサム酸の有効性の検討

2. 研究責任者(当院)

所属：整形外科

氏名：梶原大輔

共同研究の場合は代表機関 及び 代表者名

機関名：聖隷佐倉市民病院

代表名：梶原大輔

3. 分担研究者

所属：整形外科

氏名：梶原大輔

4. 研究対象者

2022年04月01日～2023年03月31日の間に、聖隷佐倉市民病院において関節鏡視下腱板修復術を受けた方、又は受ける方。

5. 研究の必要性

腱板断裂に対する手術として関節鏡視下腱板修復術はスタンダードな手術であり、出血対策は視野確保に重要で、手術が円滑に進むかどうかの鍵を握っている。術中の出血対策として、灌流液にエピネフリンを投与する方法や、トラネキサム酸を術前に静注する方法があるが、合併症や術後成績を比較した報告は狭隘した範囲では存在しない。関節鏡視下腱板修復術における出血対策を比較することで、有効性を検討することが可能である。

6. 研究等によって生ずる個人への影響と医学上の貢献の予測

出血対策により関節鏡視下腱板修復術が円滑に進行することで、出血対策をしない方法と比べ手術時間や周術期出血量が減少する可能性があるが、逆に合併症として血栓症発生のリスクもあげられる。今まではエピネフリン、トラネキサム酸それぞれの有効性が報告されていたが、比較検討をすることで、より有効性の高く安全な出血対策方法を同定できる可能性がある

7. 対象者、関係者等からの問合せ先(当院)

連絡先番号：043-486-1151(代表)

担当者氏名：梶原大輔

対応時間：平日 9:00-17:00

共同研究において専用窓口がある場合

該当なし

※ご注意

対象者とは、本研究に参加された方です。
お問合せは、本研究に参加された方と
研究関係者のみで、その他の方へのご対応
はできませんので、予めご了承願います。